

平成23年度 学校経営方針

広島市立己斐上小学校
校長 宮 脇 弘

I 学校経営の基本理念

本年度は己斐上小学校創立30年目。創立以来実践されてきたことを継承しつつ、現在に即した**創造性と可変性**のある学校経営を進めたい。また、生涯にわたって学び続ける意欲と、基礎基本の定着、思考力、判断力、表現力やたくましい実践力を育む教育活動の展開に努め、子どもたちはもちろんのこと、保護者や地域の期待に応え、信頼される学校づくりに努めたい。

II 学校教育目標

自ら伸びる やさしく ただしく たくましく

III 目指す学校像

- 子どもにとって** 楽しく学ぶことができ、登校するのが待ち遠しい学校に
子どもとの関わり：[生涯学習の基礎づくり]
子ども一人ひとりのよさや可能性を見つけ、それが発揮できる教育活動の展開の工夫を重視
- 保護者や地域の人にとって** 安心して子どもを任せられ、親しみを感じる学校に
家庭・地域との関わり：[開かれた学校づくり]
学校が子どもの為に教育機能をより発揮できるようにするために、家庭や地域等の理解・協力・連携を重視
- 教職員にとって** 子どもを育てる専門職としての意識にかきたてられる学校に
教職員相互の関わり：[子どもの為になることへの支援・協働体制]
我々教職員一人一人が自己『目標』に向けての実践と、教職員の協働体制、組織的な実践の双方を重視

IV 教育指標・めざす児童像

教育指標	めざす児童像
やさしく	思いやりの心を持ち、いのちをたいせつにする子
	互いに励まし合い、助け合う子
ただしく	よく見、よく聞く子
	よく考え、正しく判断できる子
たくましく	よく食べ、よく運動する子
	進んで取り組み、最後までやりぬく子

V 教育方針

- 1 人間として調和の取れた児童の育成をめざし、心豊かなたくましい子どもを育てる。
- 2 基礎的・基本的な内容の指導を徹底し、一人一人の子どもを生かす教育の充実に努める。
- 3 基本的人権を尊重し、人権教育・特別支援教育・平和教育の充実に努める。
- 4 学習指導要領をふまえて、教育活動の充実に努めるとともに、道徳教育・体験的学習等を通して、心の教育の充実に努める。
- 5 日常生活における基本的な生活習慣や望ましい人間関係の育成に努める。

VI 学校経営の基本方針

- 1 「子どものためになるか（こどもが得をするか）」を全ての判断基準にして、『教育目標』『めざす子ども像』の実現を目指し、次の諸点に努力したい。
教職員一人一人が自己目標を設定（自己申告書作成）し、その達成に向けて実践を重ねる。
校務分掌組織・研究推進組織を活かし、それぞれの組織を挙げて学校教育目標に向けて実践を重ねる。
- 2 平成23年度「己斐上小学校経営計画」を作成し、学校教育目標を具現化する。
昨年度の評価結果をチェックし、本年度につなぐ。
独り善がりな実践を避ける為に、外部講師を招聘し、本校の研究推進について意見をいただきながら研修を進める。また、校内学校評価委員会の機能化と学校協力者会議（提言部会・評価部会）との連携にも努める。
- 3 子どもが個性・能力、良さや特技を発揮できる機会を奨励する。
個性発揮の機会を努めてつくる。（発表の場、作品展への応募、大会参加の奨励）
子ども会や社会体育活動への参加の奨励
連合行事、各種大会などへの参加を薦め、他校児童との積極的交流の奨励
地域や市の行事への参加を奨励

VII 信頼され、期待に応える学校に

我々教職員の前向きな構えや雰囲気、子どもの成長を促すという考えに立ち、教職員一人一人が、持ち味や専門性、得意なこと、自主性や創造性を十二分に発揮するとともに、協働し、磨き合う教育活動を推進したい。また、広島県・広島市で教職員による不祥事が増加していることから、校内の不祥事防止委員会を設置し、研修も行いながら一人ひとりの意識を高め、不祥事を生まない学校づくりを行いたい。

抽象的な理論や教育一般論を越えて、より良い己斐上小学校の子どもたちを育てるために、一人一人が知恵を出し、組織力を発揮して、実践的な努力とその記録を残したい。そのことが、適正な評価（内部・外部）を得ることにつながることを信じて。

常に子どもに寄り添った教育活動を心がけるとともに、保護者の我が子を思う心情や願い、地域の声や実情から心や目を離さない様に心がけ、信頼され、期待に応える学校づくりになおいっそう励みたい。

きょういく : 恐育・凶育・叫育・狂育・狹育・競育・脅育 で、ではなく
協育・共育・教育 で、子どもが「きょういく 今日行くヨ！」と家を元気よく出る事ができる学校に！……